



ケニア

家庭訪問調査【1】(低所得層)

ケニア共和国 Republic of Kenya

- 面積: 58万2,646平方キロメートル[日本の約1.5倍]
- 人口: 4,540万人 (2016年推計値 ケニア国家統計局)
- 首都: ナイロビ[人口約390万人] (2015年 国連)



- 調査実施日: 2016年 7月17日・24日
- 調査場所 : ナイロビ Kawangware地区 (Kawangware, Nairobi)
 - ナイロビ中心街(CBD、海拔1,625m)より12km

Kawangware地区は、ナイロビにおいて有名なスラム地区のひとつ。主にBOP層とMOP層の中でも低所得の住民が住んでいる。人口は推定50万人以上とされ、その多くが1日1ドル未満で生活している。石造りやタン造りの住居が立ち並ぶ(タン造りが大多数を占める)。上下水道等のインフラ整備は進んでいない。

[調査対象周辺の概況]

- ・近隣には小さな河川がある
- ・モスクがある(上水道が引かれている)
- ・福祉センター(Loftus Welfare Associationにより設立)がある
- ・近くの病院はコミュニティ・センターとして利用されている
- ・民間の健康関連施設があったが、収益の低さから移転した
- ・新しい道路が地区選出の議員によって建設中



石造りやタン造りの建物が立ち並ぶ



地区を通る、建設中の幹線道路

- 調査対象 : ジョエル(仮名)さんの一家[低所得層: 7人家族]
- 為替レート : 1ドル≒ 98.18 ケニア・シリング (2015年平均値、本文中は「シリング」と表記)



ジョエル(仮名)さんの一家



(写真左から)次男、長男、妻

家族構成	ジョエル(仮名)さん: 50歳 妻: 47歳 長女: 24歳(大学生) 次女: 20歳(上級中等教育修了)	三女: 16歳(高校生[中等学校]) 長男: 12歳(小学生) 次男: 8歳(小学生)
世帯収入	月収: 20,000~30,000シリング (月収 ジョエルさん: 15,000~20,000シリング、妻: 2,000~5,000シリング)	
職業	ジョエルさん: 大工 妻: 消費財販売	
勤務日数	ジョエルさん: 週6~7日 妻: 週7日	

5人の子供のうち、長女は大学のキャンパス内で暮らしており、三女は全寮制の学校に通っているため、家には休日の間だけ帰宅する。



家族の紹介(それぞれの職業等)

■ ジョエルさん: 大工

建設現場で大工として働く。特定の会社に直接雇用されている訳ではなく、常勤の労働者ではないため、関わるプロジェクトが終わる度に仕事を探さなければならない。就業はナイロビの住宅地にある建設現場が多い。業務内容は、コンクリートの梁を建てる、ドアの製作、屋根のフレーム作成、窓作り、クローゼットの内張り、引き出し作りなどである。仕事は建設会社や工務店に直接アプローチしたり、職業紹介を通じて得ている。職場への通勤距離は現場により変わるが、多くはナイロビ市内かその近郊である。調査時は、ナイロビ中心街(CBD)より東方約15kmの所に位置する住宅建設での仕事に従事していた。建設現場には少なくとも常時30人の労働者がおり、プロジェクト規模や作業工程の段階によりその人数は増減する。なお、作業現場までの交通費が割高になる場合は、仕事場周辺で安く仮住まいをしている。(調査時の仕事場は、毎日250シリング以上のバス代を個人負担していた。)

将来の希望やプランは特になく、現状に満足している。

■ 妻: 消費材販売

妻は自宅や路上で、茶葉、トイレットペーパー、スチールたわし(アルミ製調理鍋洗い用)、マッチ、紙おむつ、粉石鹼などの生活消費材を販売している。商品陳列用の棚や什器はなく、時折木製テーブルに商品を並べて売っている。将来はビジネスを拡大して、多様な商品を扱う自前のキオスク(Duka)を持ちたいと考えているが、月々の売上収入は野菜や塩、調理用の木炭の購入等生活費の補てんに使われ、ここ何年も収益を貯蓄にまわすことができないでいる。



妻が販売している商品
(茶葉、スチールたわし、マッチ、
トイレットペーパー、紙おむつ等)

■ 長女: 大学生

長女は大学のキャンパス内で暮らしている。休日の度に遠方へ旅行している。

■ 次女:

大学進学を待っている状況。

■ 三女: 高校生

全寮制の中等学校に通っているため、休日になると家に帰ってくる。

■ 長男: 小学生

■ 次男: 小学生



学校の制服を着た
(左)長男と(右)次男



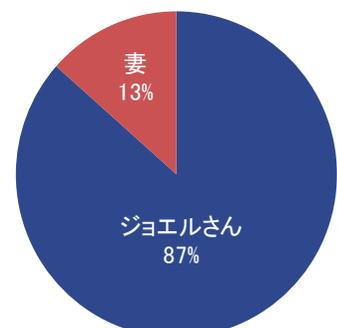
3人掛けソファーに座る妻



家計収支

世帯収入	
	月収(シリング)
ジョエルさん	20,000~25,000
妻	2,000~5,000
合計:	22,000~30,000

〔世帯収入の内訳〕



ジョエルさんが一家の主な稼ぎ手であり、日給または週給の形ながら月平均20,000~25,000シリングの収入がある。なお、常勤労働者ではないため、収入は毎月保証されている訳ではない。妻は生活消費財の販売により、毎月約2,000~5,000シリングの収入を得ている。

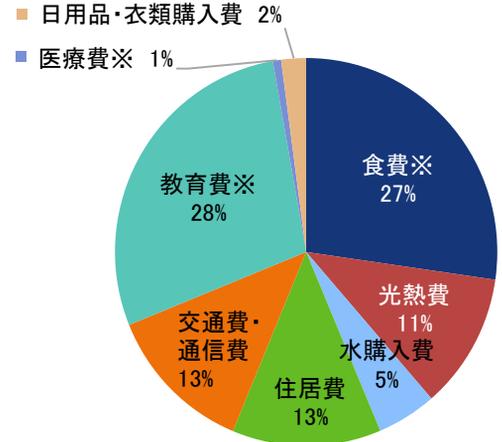


家計収支

支出内訳

支出項目	月間支出金額(シリング)
食費	6,000~7,000
光熱費	2,700 (電気代:300シリング、調理用木炭代:2,400シリング)
水(生活用水)購入費	1,200
住居費	3,000
交通費・通信費	3,000
教育費	5,500~8,000(月平均) (三女の1学期分の学費:20,000~30,000シリング、および子供たち全体の1学期分の教科書・書籍代:2,000シリングより月平均額を算出。 ※ケニアは1年3学期制)
医療費	83~250(月平均)
日用品・衣類購入費	500(月平均)
合計:	21,983~25,650

〔月間支出の内訳〕



※食費、教育費、医療費は平均値で算出

● 食費

予算的な制約があり、食品を購入する際は家族の人数を考慮しつつ、収入に応じた物を選んでいる。例えば、鶏肉より安価な鶏足を購入したりしている。加工食品やスナック類は高価な物であり、普段購入することはない。

● 光熱費: 電気代

月平均300シリングの電気代を支払っており、電気の主な使用用途は、照明、テレビ、携帯電話の充電である。電気代は、プリペイドのトークンで支払っている。

● 光熱費: 木炭代

家にガスは引かれておらず、調理の熱源には木炭を使用している。1缶80シリングの木炭を近所のキオスクかKawangwareの市場にて毎日購入する。月平均で約2,400シリングかかる。

● 水(生活用水)購入費

20Lのポリタンク1本につき5シリングで、モスクにて購入する。1日5~6本使用している。

● 住居費

月額3,000シリングの家賃の他、保証金として同額程度の金額を支払っているが、正式に署名された契約書類を取り交わしている訳ではない。

● 交通費

家族が通常利用する公共交通は“matatus”(複数の地点間をシャトル運行するミニバスやバン)およびバス。中心街までの料金は往復で80シリング(片道40シリング)。交通費の多くはジョエルさんの通勤によるもので、就業場所により金額が変動する。月平均で約3,000シリングになる。

● 教育費

支出の内、子供たちの教育費が最も大きな割合を占めており、その中でも、全寮制の中等学校(Nangina女子高)に通っている三女の学費にまとまった金額が必要となっている。小学校に通う長男と次男は、学費が無償化されているため出費は非常に少なく済んでいるが、教科書や書籍代に多少の経費がかかっている。長女は大学に通っているが、学費および生活費は政府系教育ローン*1より支給を受けている。なお、この教育ローンは、就職時に返済が開始される。次女は大学への進学を待っている状況である。

*1: 高等教育を受ける資格のある学生を支援する、政府の高等教育融資委員会(HELB: Higher Education Loans Board)による教育ローン。



調理用の木炭
(この缶一杯で80シリング)



長男の通学鞆



宿題をする長男と次男



家計収支

● 医療費

ジョエル家における医療費は最大で年1,000～3,000シリング。民間の医療保険には加入していない。

● 衣類購入費

Kawangware地区の市場で中古衣料品を購入している。2ヵ月ごとに約1,000シリングを衣類の購入に充てている。子供たちには12月のクリスマスのお祝い時に、新品の服を買い与えている。



インフラ事情

■ 電気

この地区に国の電力網が繋がったのはごく最近(約1年前)のことであり、それ以前は、住民は灯油ランプに頼る生活をしてきた。現在でも、少なくとも週3回程度定期的に停電があり、その際は灯油ランプを使用する。

■ 水道

この地区の一般家庭の多くは水道が引かれていない。このため、地域住民は水の販売業者や水道がある施設などから、生活用水を購入している。

ジョエル家では、近所のモスクで全ての生活用水を購入している。モスクの水は水道水で、ナイロビ市上下水道公社(Nairobi City Water and Sewerage Company Ltd)から給水を受けている。直面している問題としては、家の貯水容量が十分ではなく、水を使用したい時はその都度、ポリタンクでモスクから家まで運ばなければならない事。また、モスクの給水設備は電動ポンプを使用しており、頻繁におこる停電時に水が出なくなる問題もある。



モスクの水道
(この水を生活用水として購入)



水運び用のポリタンク
(写真左:10Lタンク、写真中央・右:子供たちが持ち運ぶ5Lタンク)



貯水用の20Lポリタンク

■ 下水道・衛生設備

この地域の排水設備は粗末な造りで、下水・排水路には蓋がない。トイレと浴室は家に無いため、近所の共用トイレ・浴室を利用している。

■ ゴミ処理

ゴミは、世帯ごとにナイロン袋に入れて集めておき、それを週1回、若者のグループが手押し車で回収していく。ゴミの回収代金は、家賃の一部に組み込まれている。



粗末な造りの排水路
(降雨時は衛生面で問題がある。)



共用トイレ
(堀穴式トイレ)



家の外にあるゴミ収集場



インフラ事情

■ その他インフラ整備

● 道路

現在、地区を通る幹線道路を建設中。アスファルトで舗装工事を行っている。

● 公共交通

“matatus”（ミニバン車両による公共交通サービス）と呼ばれる公共の乗合自動車が運行されている。

● その他公共工事

住民の多くが若者で失業状態にあり、その雇用対策として、コミュニティ内に治安向上目的のマスト灯（屋外照明塔）を設置する公共事業が開始された。



夜間の防犯に効果が期待される、マスト灯（屋外照明塔）



住居

住居の概況	
住宅の所有状況	賃貸
間取り	2部屋
賃貸料	月額：3,000シリング （その他、家賃と同額程度の保証金）
電気	引かれている
水道	引かれていない
トイレ・水回り	共用のトイレ・浴室を利用



トタン造りの住居外観

■ 間取り図



衣類収納スペース



テレビボード



椅子や机として使用できる木製スツール



新しく購入したカーテン（ポリエステル製）



リビングのソファとテーブル



洗濯物は家の軒先に干す



所有家財・家電製品

品名	ブランド	購入価格(シリング)	備考
14インチ型テレビ	WEGA	3,000	中古品
テレビチューナー(デジタル放送受信用)	—	3,000	中古品
ラジオ	(中国製)	600	中古品
携帯電話(ベーシックフォン)	Nokia	800	中古品
照明(蛍光灯)	—	—	—



電気のコンセント



14インチ型テレビとテレビチューナー(テレビの左上に設置)



ラジオ



携帯電話



照明(蛍光灯)

経済的な理由から、使用している家電製品の多くは中古品を購入したもの。新品では、テレビが6,000シリング以上、携帯電話が1,500シリング以上の価格となっている。

Kawangware地区周辺には中古家電を取り扱う店が数件ある。このような店は地区全体に広がっており、家賃や学費、食品購入等、生活に不可欠な出費のため現金を必要とする人々により、家で使用していた物を売却したものが中古商品として流通している。



食生活・食事

主食は、ウガリ(白トウモロコシの粉を湯で練って蒸したもの)と野菜(“Sukuma wiki”と呼ばれる青菜のケールが一般的)。時には、ウガリのおかず比較的安価な鶏足や鶏頭(鶏肉は割高)を買うことがある。また、食事内容に変化をつけたい時に、米を食べることもある。ウガリ作りの材料である白トウモロコシは、産地の一つである西部ケニア内陸部に住む親戚がバスに乗って持ってきてくれることがある。Kawangware地区内に「ポショ・ミル」と呼ばれる製粉所があり、そこで白トウモロコシをウガリ用の粉にする。野菜と鶏足(または鶏頭)は、近くにあるKawangware地区内の市場で購入している。

■ 買い物

食品の購入は、家族の人数を考慮しつつ、収入に応じたものを買うよう心がけている。購入金額は、月平均で約6,000~7,000シリング程度。

● 生鮮食品

ウガリ用の白トウモロコシは、ほぼ毎月一度購入している。生鮮食品や料理の残りを保存する手段を家に持たないため、野菜やその他の食品は毎日必要な分だけ買いに行く。作った料理はその日のうちに全て消費する。

● 加工食品

経済的な制約があるため、高価な加工食品やスナックは購入しない。



新鮮な青菜(ケール)とトマト



鶏足(写真左)は野菜と一緒に調理する



食生活・食事

調理用熱源

調理には木炭と木炭コンロを使用している。1缶80シリングの木炭を近所のキオスク、またはKawangware地区の市場で毎日購入している。



木炭コンロ



木炭コンロに鍋をかけたところ

料理



ギゼリ
(豆と白トウモロコシを煮た料理)



ウガリと青菜(ケール)のおかず

食事



リビングのテーブルで食事をする家族



食事をする長男と次男



衣服、ファッション

衣類は基本的に中古衣料を購入。ジョエルさんはシャツにズボン、息子たちはTシャツにズボンで過ごす。妻はワンピース、娘たちはブラウスにスカート、またはワンピースなどを着ている。その他、学校に通っている子供たちは制服がある。



デニム地のズボン



妻のブラウス



男児用のTシャツ



生活時間

1日の行動スケジュール

● 平日

時刻	ジョエルさん	妻	長男と次男
05:30	起床	起床、朝食の準備	
06:00	朝食、出勤	朝食、片付け	起床、朝食、登校準備
07:00	仕事	家事	登校
08:00	↓	水運び	学校
09:00	↓	家事	↓
10:00	↓	↓	↓
11:00	↓	仕事	↓
12:00	↓	↓	↓
13:00	昼食(仕事場)	昼食(自宅)	昼食(学校内)
14:00	仕事	仕事	学校
15:00	↓	↓	↓
16:00	↓	↓	帰宅
17:00	↓	↓	遊び時間
18:00	↓	↓	入浴
19:00	↓	夕食の準備	テレビを見る、宿題
20:00	帰宅	↓	↓
21:00	テレビを見る、夕食	夕食	夕食
22:00	テレビを見る、休息	就寝	就寝
23:00	就寝		



洗濯をする妻



洗濯物を軒先に干す

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。